

皆さん、こんにちは。楊咏欣と申します。2020年11月に来日し、亜細亜友之会外語学院に入学し、2021年の夏に京都大学経済学研究科と神戸大学経営学研究科に合格しました。専門は経営学で、ここで個人的な経験を皆さんに共有していただき、お役に立てれば幸いです。

## 1. 受験のスケジュール

ロシア語を専門として大学で勉強しましたが、高校から日本のアニメに興味を持ち、日本語の勉強も始め、N2を取得しました。大学三年生の時（2019年6月）に専攻を変更し、日本に留学することを決めました。その時に石川先生と相談し、しっかり日本語と英語の勉強に取り組み、専門知識にも触れて準備しておいたほうが良いなど、いろいろアドバイスをいただきました。

2019年12月 中国国内で初めて TOEFL に挑戦

2020年7月 コロナの影響で日本に入国できなくなり、亜細亜友之会外語学院のオンライン授業に参加

2020年11月 来日後、亜細亜友之会外語学院に入学し受験準備を開始

2020年12月 N1に挑戦

2021年2月 TOEIC を受験

2021年3月～6月 研究計画書の執筆

2021年6月～8月 先生のご指導の下出願と模擬面接を受け、最後の受験準備を遂行

## 2. 受験心得

経営学の場合、日本語、英語、研究計画書、専門知識、面接、この5つの点から個人的な受験の経験を皆さんにお伝えします。

### ・日本語

当初、日本語の基礎知識が薄く得意ではありませんでしたが、亜細亜友之会外語学院のオンライン授業に参加してから、徐々に上達してきました。日本語の言語環境と体系的日本語の勉強が非常に大事だと思います。授業で、文法や語彙・聴解・読解などを先生が細かいところまで熱心に教えて下さいました。

### ・英語

#### ・ TOEFL

TOEFL は聴解・読解・口頭・作文の4つの部分からなります。TOEFL は日常ではほとんど使わない語彙がたくさん出て、私にとってすごく難しかったです。特に、天文学、地理や考古学などの分野の語彙が覚えにくいので、読解と聴解にも影響を与えてしまいました。それを克服するため自分のやり方は、直接読解問題を解きながら、分からぬ語彙などを覚えていくことです。聴解は同じ文章を繰り返し聞いて、シャドーイングをやり、その内容を書く方法で練習しました。この方法は同時に語彙と聴解の能力を伸ばすことができます。口頭と作文は論理性が重要視されていて、練習を積み重ねて短時間で上達できる項目だと思います。

#### ・ TOEIC

TOEIC は TOEFL と比べると、聴解と読解だけ2つの部分から構成され、考察内容が日常生活でよく使われる内容なので、それほど難しくないと思います。TOEIC の難易度は問題量が多いので、時間内に正確性を保ち解き終わることです。それを克服するために、弱い部分を絞り込み、過去問をたくさん練習しました。具体的な方法は、表計算ソフトエクセルを使って、毎回過去問を解く毎に、得点をエクセル表に記録し自己分析を行い、弱い部分

を抽出し、その部分の練習問題を購入して訓練を行うことです。

#### ・研究計画書

教授は、提出された研究計画書から出願者のモチベーションや専門知識などを判断されるので、研究計画書が最も重要な部分だと思います。ですから、たくさんの論文を読んでおいた上で執筆し、すぐに着手できることではありません。さらに、論文を読むときに、自分の言葉でまとめておくと、その後の先行研究整理に役に立ちます。なお、執筆した研究計画書は、いったい何を明らかにするか、なぜその問題に取り組むか、どんな方法で今まで残された問題点を解決するか等を、良く考えておくことが重要なポイントです。

#### ・専門知識

専門知識の準備は、知識のインプットとアウトプットが大事です。本を読むときにその内容を理解したと思いましたが、本を閉じたら何も思い出せないことが起こったことがあります。こういうことを避けるために、キーワードを中心に覚えて、そのキーワードに関連する内容を他の人に説明してみる方法を探りました。誰もいない場合、自分で自分に説明し、この方法で練習して筆記試験の成績を向上させることができます。抽象的な知識は関連する企業に当てはめてみて理解したほうが良いです。なお、専門書を読みながら、章ごとにそのフレームワークを作ることも有効です。

#### ・面接

面接は、研究計画書と自分の状況を中心に質問されます。先ほど述べたように、研究計画書の内容をしっかりと把握しておくことが大事です。研究計画書の準備をしっかりと行っておけば、どんな質問をされても上手く答えられると思います。岩崎先生、宮原先生の模擬面接を数回受けて、先生方のおかげで大学院の口頭試験では緊張感もなく、流暢に答えることができました。

以上、私の個人的な受験の経験です。要するに、できる限り早く準備することが成功の鍵です。そして志望校の過去問などを参考にして幾重にも準備することをお勧めします。

日本に来て、色々な方から助けていただき、本当にラッキーだと思います。最初、右も左も分からぬ状態で、石川先生からたくさんの助言を頂戴しました。また大澤先生には出願資料を細かいところまでチェックして頂き、更に岩崎先生、宮原先生のおかげで上手く面接が受けられました。日本語を教える先生方、並びに生活面・精神面を支えて下さる申先生、そして優しいクラスメイトに心から感謝します。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。これから受験する皆さん、ぜひ頑張ってください。